



産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 5 月 19 日

函館市長 様

提出者

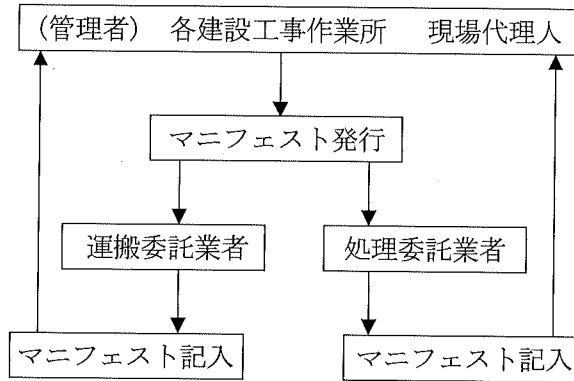
住 所 函館市昭和1丁目3番8号
 氏 名 紀の國建設株式会社
 代表取締役 紀國 隆二
 電話番号 0138-42-3825

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	函館市内現場
事業場の所在地	函館市内各現場
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	完成工事高 967,700 (千円) (令和4年度実績)
③従業員数	24名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物の種類ごとにカゴを設置・分別し、収集業者へ委託 ・ 紙くず・木くず・金属くず⇒再生処理業者へ委託し、チップ・再生紙原料・スクラップとして再資源化 ・ がれき類⇒再生処理業者へ委託し、再生材として再資源化 ・ 廃プラスチック類⇒再生処理業者へ委託し、破碎後再生資源化 ・ 建設混合廃棄物⇒再生処理業者へ委託し、再生と埋立処分に分別する ・ ガラスくず⇒最終処分業者へ委託し、破碎後、埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙記載のとおり	
	産業廃棄物の種類	—
	排 出 量	—
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】 別紙記載のとおり	
	産業廃棄物の種類	—
	排 出 量	—
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙記載のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙記載のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙記載のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	—	—
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—
	再生利用業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙記載のとおり	
	産業廃棄物の種類	—
	全処理委託量	—
	優良認定処理業者への 処理委託量	—
	再生利用業者への 処理委託量	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃油 (ルフィン)	廃プラスチック類	紙くず	ダンボール	木くず	木くず (伐採伐根)	繊維くず	金属くず	ガラス 陶磁器	ガラス 破片	コンクリート	石膏ボード	がれき類	アスファルト破片	混合廃棄物	石綿含有材 (非飛散性)	水銀使用 (HIDランプ)	水銀使用 (蛍光灯)	
	排出量	10.89	32.427	1.2	0.75	127.952	2.20	0.72	133.001	54.55	2.30	2048.54	23.52	7.696	115.67	85.691	47.36	0.008	0.18	
	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	(これまでに実施した取組)																			
	<ul style="list-style-type: none"> ・小梱包化及び無梱包化を資機材納入業者へ依頼 ・現場における余剰資材の削減、資材発注時の数量確認・指導 ・改修・解体工事における分別作業の管理及び指導 																			
② 計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃油 (ルフィン)	廃プラスチック類	紙くず	ダンボール	木くず	木くず (伐採伐根)	繊維くず	金属くず	ガラス 陶磁器	ガラス 破片	コンクリート	石膏ボード	がれき類	アスファルト破片	混合廃棄物	石綿含有材 (非飛散性)	水銀使用 (HIDランプ)	水銀使用 (蛍光灯)	
	排出量	10.0	30.0	1.0	0.7	100.0	2.0	0.5	100.0	50.0	2.0	2000.0	20.0	6.0	110.0	75.0	45.0	0.005	0.15	

	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)																			
	<ul style="list-style-type: none"> ・小梱包化及び無梱包化を資機材納入業者へ依頼 ・現場における余剰資材の削減、資材発注時の数量確認・指導 ・改修・解体工事における分別作業の管理及び指導 																			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃油(ルフィン)は、専用の袋を設置し分別している。 ・廃プラスチック類は、専用のかご、または袋を設置し分別している。 ・紙くず・ダンボールは、専用のかご、または袋を設置し分別している。 ・木くずは、専用のかご、または袋を設置し分別している。 ・金属くずは、専用のかご、または袋を設置し分別している。 ・ガラス・陶磁器くずは、専用の袋を設置し分別している。 ・コンクリート・がれき類・アスファルト破片は、専用の袋、または仮置き場を設けて分別している。 ・石膏ボードは、専用のかごを設置し分別している。 ・混合廃棄物は、専用のかごを設置し分別している。 ・石綿含有材(非飛散性)は、飛散防止措置をし分別している。 ・水銀使用(ランプ類)は、専用の袋に入れ分別している。																			
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上																			

別紙(第4面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】																			
産業廃棄物の種類	廃油 (ルフィング)	廃プラスチック類	紙くず	ダンボール	木くず	木くず (伐採伐根)	繊維くず	金属くず	ガラス 陶磁器	ガラス カス	コンクリート	石膏ボード	がれき類	アスファルト破片	混合廃棄物	石綿含有材 (非飛散性)	水銀使用 (HIDランプ)	水銀使用 (蛍光灯)	
全処理委託量	10.89 t	32.427 t	1.20 t	0.75 t	127.952 t	2.20 t	0.72 t	133.001 t	54.55 t	2.30 t	2048.54 t	23.52 t	7.696 t	115.67 t	85.691 t	47.36 t	0.008 t	0.18 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	— t	29.961 t	1.20 t	0.75 t	22.407 t	— t	0.72 t	5.076 t	50.63 t	2.30 t	0.3 t	8.70 t	— t	— t	77.243 t	— t	— t	— t	
再生利用業者への 処理委託量	— t	2.466 t	— t	— t	105.545 t	2.20 t	— t	127.925 t	3.92 t	— t	2048.54 t	14.82 t	7.696 t	115.67 t	8.448 t	— t	0.008 t	0.18 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	
(これまでに実施した取組)																			
<ul style="list-style-type: none"> ・小梱包化及び無梱包化を資機材納入業者へ依頼 ・現場における余剰資材の削減、資材発注時の数量確認・指導 ・改修・解体工事における分別作業の管理及び指導 																			

別紙(第5面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【目標】																			
産業廃棄物の種類	廃油 (ルフィング)	廃プラスチック類	紙くず	ダンボール	木くず	木くず (伐採伐根)	繊維くず	金属くず	ガラス 陶磁器	ガラス カス	コンクリート	石膏ボード	がれき類	アスファルト破片	混合廃棄物	石綿含有材 (非飛散性)	水銀使用 (HIDランプ)	水銀使用 (蛍光灯)	
全処理委託量	10.0 t	30.0 t	1.0 t	0.7 t	100.0 t	2.0 t	0.5 t	100.0 t	50.0 t	2.0 t	2000.0 t	20.0 t	6.0 t	110.0 t	75.0 t	45.0 t	0.005 t	0.15 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	
再生利用業者への 処理委託量	— t	30.0 t	1.0 t	0.7 t	100.0 t	2.0 t	0.5 t	100.0 t	50.0 t	2.0 t	2000.0 t	20.0 t	6.0 t	110.0 t	75.0 t	— t	0.005 t	0.15 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	
(今後実施する予定の取組)																			
<ul style="list-style-type: none"> ・小梱包化及び無梱包化を資機材納入業者へ依頼 ・現場における余剰資材の削減、資材発注時の数量確認・指導 ・改修・解体工事における分別作業の管理及び指導 																			